

H084 観察研究の統計的方法

前期 MPH 選択

授業日時:	集中講義 6 月 7 日、14 日、21 日(土)9:30~17:00(21 日のみ 18:30 終了)
担当分野:	医療統計学分野
担当教員:	佐藤俊哉(科目責任者) 濱崎俊光(国立循環器病研究センター)
教室:	大阪大学中之島センター http://www.onc.osaka-u.ac.jp/index.php
主担当教員連絡先:	佐藤俊哉 G 棟 3F 医療統計学 内線 4475 e-mail: sato.tosiya.4e(at)Kyoto-u.ac.jp
基礎・応用等レベル:	上級者向けの難解な講義です
先修・推奨科目等:	前期コア 医療統計学、後期 交絡調整の方法

I. コースの概要

臨床研究と疫学研究では様々な観察研究が行われています。臨床試験に代表される実験研究を実施できない状況は数多くあり、観察研究は臨床研究・疫学研究において重要な役割を演じています。しかし、観察研究は実験研究とことなっており、さまざまなバイアスが入りやすく、観察研究に特有の留意すべき事項も多くあります。

本コースでは観察研究のデザイン、研究の進め方、統計解析の方法を解説し、観察研究を計画、実施、解析ならびに報告するための統計学の知識を習得することを目標とします。

II. 学習到達目標(このコース終了時までには習得が期待できること)

- ・ バイアスを避けるための研究デザイン上の工夫を理解する
- ・ バイアスを調整するための統計的方法を理解する
- ・ 観察研究における回帰モデルと傾向スコアの役割を理解する
- ・ 様々な研究デザインによる対象者のサンプリング方法と解析方法を理解する

III. 教育・学習方法

- ・ パワーポイントスライドによる講義形式とスモールグループによる演習

IV. 学習資源

推奨テキスト:

佐藤俊哉, 宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ 検定の巻. 岩波科学ライブラリー194, 2012.

宮原英夫, 丹後俊郎編. 医学統計学ハンドブック. 朝倉書店, 1994.

Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. Modern Epidemiology. 3rd ed. Lippincott Williams & Wilkins, 2008.

V. 学生に対する評価方法

レポート

VI. その他メッセージ

- ・ 統計学の基本的な知識(尤度、漸近分散、確率分布、など)を前提とした難しいコースです
- ・ 受講希望者は事前に必ず相談してください

人間健康科学系専攻学生の受講可否: 否

予定・内容

第1回	6月7日	9:30~11:00	観察研究・疫学研究の概要
第2回	6月7日	11:15~12:45	観察研究におけるバイアス
第3回	6月7日	13:45~15:15	重回帰分析
第4回	6月7日	15:30~17:00	グループワーク1
第5回	6月14日	9:30~11:00	2×2表の解析
第6回	6月14日	11:15~12:45	層別解析
第7回	6月14日	13:45~15:15	ロジスティック回帰
第8回	6月14日	15:30~17:00	グループワーク2
第9回	6月21日	9:30~11:00	生存時間解析
第10回	6月21日	11:15~12:45	標準化と傾向スコア
第11回	6月21日	13:45~15:15	新しい疫学研究デザイン
第12回	6月21日	15:30~17:00	グループワーク3
第13回	6月21日	17:00~18:30	グループワーク4: 発表会